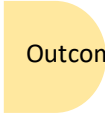


0.14%

褥瘡発生率

測定値の定義・計算方法



Outcome 分子： d2（真皮までの損傷）以上の院内新規褥瘡発生患者数

分母： 同日入退院患者または褥瘡持込患者または調査月間以前の院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数（人日）

活動のきっかけ

褥瘡は、疼痛などにより患者の QOL の低下をきたすとともに治療が長期に及ぶと、在院日数の長期化や医療費の増大にもつながる。
褥瘡予防対策を多職種と協同し重点的に取り組み、褥瘡発生を抑えることで患者の QOL の維持や退院後の安定した生活へと繋げることができるため、取り組んでいく必要がある。

改善活動部門

- 形成外科
- 看護の質向上室
- 救命救急センター病棟

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
・ お尻の予防的スキンケアを実施するしくみが整えられ、スキンケア実施率がupした。 ・ 管理者にて毎月の褥瘡発生状況が分析ができるようになった。（紙面フィードバック開始中）これによりスタッフ間の情報共有やケアの見直しも可能となった。	・ 管理者主体の褥瘡発生状況分析や対策立案ではなく、主任、褥瘡ミーティングメンバーが主体的に関与できる体制構築が必要である。 ・ 当院は三次救急病院として重症患者が多く、医療関連機器褥瘡（MDRPU）の発生が比較的多い傾向にあります。重症度に伴う患者要因も影響していますが、早期予防ケアの徹底とリスク評価の精度向上を課題とします。